

令和4年度ふれあいトーク議事録(11月30日)

日時 令和4年11月30日(水) 18:55～
 場所 加納地区まちづくりセンター
 出席者 27名
 市長、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、
 防災・危機管理監、消防監理監、地域振興課、地域担当職員
 内容 18:55～19:03 市長あいさつ
 19:03～19:37 出席者紹介・市政の概要について 市長説明
 19:37～19:39 令和4年度加納地区事業概要について 地域振興課説明
 19:39～20:23 意見交換
 20:24～20:32 地域づくり協議会(企画政策部長)マイナンバーカード(市民部長)、芸術文化館オープニングシリーズ(教育次長)について説明
 20:32～20:40 事務連絡 閉会あいさつ 市長、加納地区まちづくり協議会会長

質問の内容	回答
1 ■芸術文化館周辺の市道環境整備について 路肩の縁石上にあるポール(視線誘導標)が損傷していたり、白線が見えにくくなっていたりする箇所が多い。 3年以上、重ねて幾度も要望していることなので、スピード感をもって、早急に対応してほしい。 また、樹木や草が繁茂し、見通しが悪化している箇所もたくさんある。除草してもらった箇所はとても感じがいいので、しっかりと点検・対応してほしい。	■建設部長 除雪で損傷した視線誘導標については、早急に修復したい。 また、除雪時の幅出しに必要なポールについては、道路課に連絡し、必要な箇所にはポールを設置するよう業者への説明会で案内している。 白線については、現時点で行うと除雪で再び損傷してしまうので、3月ごろの引き直しを予定している。
2 ■上庄川にかかる加納潮止水門について 緊急ではないが、古くなってきたため市に認識してほしい。 4月～9月は農業用水のために下してしているが、大雨警報のたびに上げ下げしている。 老朽化により、ワイヤ損傷(2年前)や、うまくしまらない状態が起こっている。緊急時の可動に支障があると、災害につながるおそれも考えられる。 県からは「上庄川の改修にあわせてでない」と対応できない」との連絡を受けている。	■建設部長 10/28に、地元の役員や高岡農林振興センター、土地改良区等を含む関係者との打ち合わせを行った。この結果、やはり「上庄川の改修に合わせないと、先行して水門を改修しても、結果取り壊す可能性もありうる」という結論に至った。 ただ、部分的な破損や不具合への懸念は承知しており、修繕にかかる負担についても(地元負担に限らない)手法を検討する必要があることは認識している。
3 ■施策の展望について ・老朽化したインフラ(用水路等)や、福祉などに対する長期的な展望について ・現金給付や他市との比較ではない、「こころ」をくすぐるような施策(「日本で唯一」のような…)はないものか。 ・氷見市民病院の経営について診察が中心だと利益にならないのではないのか。現在は補助金をうまく活用しているが、将来的な展望はどうか。	■市長 ・大晦日には断水も生じているため、インフラの老朽化対策を重視しています。平成30年度に計画を見直し、水道の老朽化対策への投資を年間3億円から5億円に引き上げた。 ・財政規模的に日本一を図るのは困難ではあるが、県内トップクラスの子育て政策を進めている。 ・総合病院の性質上、効率的にはいかない面もあるが、補助金頼りの運営にならないように改革プランを進めていく。
4 ■旧給食センター跡地の入札について その後の進展はどうなっているか。	■総務部長 落札事業者は決定したが、12月議会で議決を経ないと売却できない状態である。 売却後、今後3年以内に事業(福祉または産業振興に限っている)を開始する計画だが、建物の活用は事業者の判断次第である。
5 ■氷見市の人口推移について どのような現状であるか。	■企画政策部長 第2期氷見市まちひとしごと創生総合戦略を策定しており、計画上では、毎年230人の出生維持、2040年までに転出者と転入者が同数になることを目標にしている。 令和3年10月から令和4年9月までの1年間では出生者数は185人(前年と横ばい)、転入者は687人(前年比+約30人)、転出者は912人(前年比▲約70人)で、社会増減数は前年と比べると約100人改善されており、一定の効果があった。社会増減も転出超過ではあるが、前年比で100人改善した。 ぶり奨学金や移住支援センターなどの施策の効果が出ている。

質問の内容	回答
<p>6</p> <p>■国道415号・谷屋大野バイパス及び上庄川について ・(R415の幅員は)現在13.5mだが、拡張できる用地を確保してあるはずなので、幅員18mを確保してほしい。 また、景観・まちづくりの点で、今後とも沿道に電柱は立てさせないようにしてほしい。</p> <p>・上庄川について 上庄川の幅を3mから4mに広げ、安全度を高めてほしい。県の河川整備計画では国道160号から下流は触らないことになっているが、潮止水門の件も含め、河川事業として対応できるように働きかけてもらえないか。</p>	<p>■市長 国道の拡幅については、可能であるか考えていきたい。</p> <p>■建設部長 景観に配慮して電柱を立てさせないようにしてほしいとの件について、国道415号の国道160号から海側は、既に無電柱化されている。また、国道415号は緊急輸送道路に指定されており、災害時の電柱倒壊による通行止めを防ぐため、電柱設置の抑制の対象となっており、道路管理者である県では電柱の占用許可は出さないとと思う。</p> <p>■市長 上庄川については土地改良となると原則地元負担になってしまう。 河川は本来下流が広く上流が狭いものであり、上流を改修するには下流を広げないと災害(人災)につながる恐れがある。調整池を造るとか、何かいい方法がないか検討したい。</p>